



ひだご坊



念じられ 照らされて

生まれた喜び

貝沼宜徳



<略歴>

1958年、名古屋市学科屋生まれ。大谷大学文学部卒。現在、名古屋西教区第19組住職。

来年、二〇二三年は、「宗祖親鸞聖人御誕生八百年慶讃法要」が真宗本廟（東本願寺）にて勤められます。この長い法要の名前は、親鸞聖人の誕生を祝うことと、親鸞聖人の著作であり、浄土真宗の根本聖典である『教行信証』が、この世に出たことが、深い関係を持っていることをあらわしているのです。それを単に親鸞聖人の誕生を祝うのではなく、『教行信証』を著されたことを通して、親鸞聖人の誕生をお祝いする法要だというのであります。より手短かにいえば、

『教行信証』を著作された親鸞聖人を慶喜奉讃する法要であるといえましょう。したがって、この法要こそ、私たちにとって、いよいよ『教行信証』が学ばれていく時が熟したことをあらわしているのです。『教行信証』を書いた親鸞は、地中に埋まっていたといわなければならぬ『信証』といわれて、『教行信証』を衆生に取りもどす必要がありました。もしわれわれに果たさねばならない仕事があるとするならば、それしかないんじゃないですか。『教行信証』の親鸞をよみがえらせることしかないんです。『教行信証』を書いた親鸞は、地中に埋まっていたといわなければならぬ『信証』といわれて、『教行信証』を衆生に取りもどせと熱く語られた宗先生の言葉やお姿が浮かんでまいります。来年に厳修される慶讃法要は、まさに『教行信証』の親鸞聖人が、この世に生まれでてくる法要でなければなりません。

今日の時代は、コロナ禍の中で、人間が閉塞化し、個人が孤立化する未曾有の危機をあらわしています。しかしながら、そうした危機こそが、『教行信証』の親鸞聖人と呼んでいく時ではないでしょうか。親鸞聖人の生涯は、まさに人間の危機である末法濁世を生きたのであります。私たちは日常生活の中で、「何故、生まれたのか。何故、生きねばならないのか」という根源的な問いを忘却して生きています。いわば忘却の彼方に、そのような問いを置きざりにしてしまっています。つまり、「生まれた喜び」に蓋をしたまま生きていくのであります。だけれども、消えてなくなってしまうわけではありません。それ故に、危機である時こそ、そのような問いが吹き出してくる転機でもあります。青年期に胎動している根源的な問いは、いつでも湧いて出てくる時を待っているのです。私たちが、そのような根源的な問いを、あらためて、生涯の中でとりもどしていくことの大切さを、聞法生活として教えてください。

真宗門徒と呼ばれる人たちの伝統であります。そして、その聞法生活をすすめてくださっているのが、『教行信証』の親鸞聖人なのであります。「生まれた喜び」とは、『教行信証』を学ぶ聞法生活として、すでに用意されているのであります。

別院定例法座

午後1時から

11月	28日	親鸞聖人ご命日法座	講師 日野 益良氏 (桂林教会)
12月	3日	三日のご坊	講師 江馬 雅臣氏 (賢誓寺副住職)
28日	親鸞聖人ご命日法座	講師 石井 宗氏 (西教寺住職)	

講題 「自分の正体」

高山別院報恩講 子ども作品展

十月二十二日から十一月三日まで、高山別院本堂では報恩講子ども作品展の作品が展示されています。今年も書道塾、教室、個人より小中学生の書道と絵画作品二百七十九点が出品され、左記の通り各賞の入選が決まりました。受賞者の方々に祝い申し上げますとともに、ご参加くださった皆さま方に御礼申しあげます。

表彰式は十月三十日に別院にて執り行いました。別院報恩講にお参りの際にどうぞご覧ください。

【飛騨御坊賞】 村田苺夏(中二)

御坊報恩講

三年 村田 苺夏

大如 悲来

六年 今井 純鈴

今井純鈴(小六)

【金賞】	柄本千智(五歳)・河合彩芭(小二)・森本季依奈(小三)・中丸詩野(小四)・岸本那奈(小五)・金山仁知花(小六)・堤莉理子(中二)
【銀賞】	山越海結(小一)・長瀬芽衣(小二)・長田陽葵(小三)・阪本百香(小四)・牛丸結衣子(小五)・高田紗那(小六)・道下瑛仁(中三)
【銅賞】	前原音々(小一)・尾崎さくら(小二)・鈴木朱羽(小二)・塚腰日咲(小三)・野原紬(小三)・岩坂美咲(小三)・塩屋道琉(小四)・溝口真優(小四)・高家莉紅(小四)・小池沙奈(小五)・倉畑日菜之(小五)・渡瀬智世(小五)・谷口藍唯(小六)・野中千陽(小六)・寺垣珂瑚(小六)・三輪結夏(中二)・道下陽生(中二)

(以上、敬称略)

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの
意味をたずねていこう

ひだご坊

報恩講

親鸞聖人

御誕生850年
立教開宗800年

慶讃

お待ち受け

11月 1日 (火)	午後 1時	初逮夜 音楽法要	法話 講師 三木 朋哉氏 (浄福寺住職) 講題 「通入すべき道」
	午後 7時	第41回 別院真宗公開講座	講師 細川 好圓氏 (三条教区護念寺住職) 講題 「本物になる 一本願に遇う」
	午前 7時	晨朝(お朝事)	法話 講師 小原 宗成氏 (圓龍寺住職)
2日 (水)	午前 10時	日中	法話 講師 三島 清圓氏 (西念寺前住職) 講題 「現代日本の邪教」
	午後 1時	大逮夜 同朋唱和	宗祖御誕生850年 立教開宗800年 お待ち受け法要・・・ハープ演奏
	午後 6時半	御伝鈔 の夕べ	拝読時に異国の 楽器音楽が融合! 拝読者 高山別院列座 演奏者 曾爾テラワキ氏
3日 (木)	午前 7時	晨朝(お朝事)	法話 講師 江馬 雅臣氏 (賢誓寺副住職)
	午前 9時半	帰敬式	法話 講師 三島 多聞氏 (高山別院輪番) 講題 「真宗門徒」
	午後 1時	満日中	



演奏者
森清奏子氏

愛知県立芸術大学入学。弦楽器首席により「平成17年度桑原賞」受賞。フランス国立ストラズブル音楽院に入学。最上級課程を満場一致の最優秀の首席で終了。スタジオハルビにてリサイタルを行う。ドルチェ弦楽合奏団とコンチェルトの共演。



幼少の頃よりピアノをはじめ音楽家としての道を歩み、1999年オーストラリアの先住民族アボリジニの風笛「イダキ」と出逢う。舞台音楽や奉納演奏など幅広く活動する音楽家。HIDAKI代表。

尾形あかね 仏画展

期間 11月6日まで
午前9時～午後3時
場所 高山別院寺宝館
— 無料 —

子ども作品展

期間 11月3日(木)まで
会場 高山別院本堂

お浚え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日時 11月4日(金) 午前7時～

参拝送迎バス

11月2日・3日には別院報恩講参拝のためのバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺へお願いします。

【2日】白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、清見町、下之切町、山田町、飛騨市、国府町
【3日】朝日町、丹生川町、下呂市

<中止事項>

- ・ご坊名物の「大根汁」
- ・屋のお斎
- ・フリーマーケット
- ・抹茶接待

12/6 真宗公開講座 (第2回)

講師 大島 義男氏 (雲集学舎主宰)
講題 「本願の欲生心成就」
講題 高山別院本堂 参加費 500円

12/10 岐阜別院 報恩講 団体参拝

参拝のお申し込みは
高山教務支所(32-0776)まで

12/21 高山別院 お煤払い奉仕のお願い

12月21日(水)午後1時より、本堂のお煤払いを行います。一年の汚れを落とし、新年をお迎えます。ぜひともご奉仕をお願いいたします。

※持参品
マスク・タオル・軍手など

12/31 除夜の鐘と修正会

高山別院では年越し前から除夜の鐘つきが始まり、年が明け、午前0時から本堂にて修正会が勤められます。修正会は、一年の初めに莊嚴を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ仏事です。ぜひ、高山別院にお参りいただき、新年の歩みを始めましょう。

除夜の鐘
12月31日(土)
午後11時45分～

修正会
1月1日(日) 午前0時
1月2日(月) 午後1時
1月3日(火) 午後1時

